

部の衝なかに活力が感じられないことで、県全体にマイナスイメージが及ぶ事態は避けたい」と言う。そのためにも「交流人口の拡大につながる施策を官民が一体となつて講じることが重要」として「商工会議所が両者の橋渡し役を果たしたい」と語る。

がんを克服した体験から 最低年1回の健康診断を



井口食品
(福岡市)の
井口俊之社
長は7年前
がんと手術を
受けた経験か

ら「最低、1年に1回は健康診断を受けることを勧めたい」と力説する。発症前も、「ウォーキングや食事など、それなりに気を使っていた」そうだが、ある時、帯状疱疹にかかり病院で検査を受けると、肺に影があることが判明。しかし、一向に病名が分からないため、開腹し、がんなら即手術、良性ならそのまま閉じるということになったという。

当日は、朝8時に手術室へ入っ

たが、すぐにがんと診断され、即手術。「目が覚めたのは夕方6時だった」と語る。

その後、無事に回復し、社業に復帰したが、今も4カ月に1回の検診を欠かさない。「幸いステージ1だったのでことなきを得たが、病気は急になるのではなく、それまでの下地が積み重なり、ある時に発症すると思う。仕事でも、早め早めが大事であり、先送りしないようにすることが、良い結果につながるのではないかと思う」と話している。

起業を志す人たち向けの シェアハウスを設置



「Discovery Hakata South」をオープンした九州
レップ(福岡市)の白砂光規社
長は、「本気で英語を学びたいと
考えている日
本人と、ネイ
ティブに近い
英語を話す
外国人限定の
シェアハウス

昨年11月、福岡市博多区に英語漬けシェアハウス「Discovery Hakata South」をオープンした九州レップ(福岡市)の白砂光規社長は、「本気で英語を学びたいと

というコンセプトが受け入れられ、34室は満杯状態が続いている」という。

シェアハウスは、リビングや台所、浴室などを共有し、個室をプライベート空間とする生活スタイルだが、白砂社長が提供しているのは、シェアハウスの中でも一定のコンセプトを共有してコミュニテイ

を形成するコンセプトと言われるタイプ。「真剣に英語を学びたい日本人のために、外国人講師を招いて講義も行っている」という。

「来春には、当社にとって2番目となるシェアハウスを準備中。次は、起業を志す人たち向けのシェアハウスにしたい」と話しており、アイデアを練っている。

【お問い合わせ・お申し込み】
MIN-ON 九州センター
TEL (092) 629-3050

MIN-ON GUIDE

<http://www.min-on.or.jp/>
6月公演より

♪伊東ゆかりコンサート2015 ～デュオで親子でライバルで～

伊東ゆかりが中尾ミエ、園まりとともにテレビ番組「スパークショー」で3人娘としてトリオを組み、人気者となったのは1963年のこと。67年に「小指の想い出」が大ヒットし、その年のレコード大賞・歌唱賞を受賞した。

娘の宙美(ひろみ)は2002年12月に伊東ゆかりのアルバム「Touch me Lightly」の中の「瞳が微笑むから」でデュエットを果たし、07年6月に「ふたりの小舟～The water is wide～」でデビューした。昨年、歌手生活60周年を迎えた伊東ゆかり。娘とともに、息の合った歌声でステージを彩る。

